



Photo: 株式会社 コマテック

●企業リレー ●活動レポート 平成28年7月～10月

めざします。「みんなの法人会」

特集

「11月11日(金)～11月17日(木)は
『税を考える週間』です」

11月11日(金)～11月17日(木)は『税を考える週間』です



あなたは、印紙と証紙の違いがわからず同じ書類に二度の手数料を支払ったことはありませんか。

1 収入印紙とは

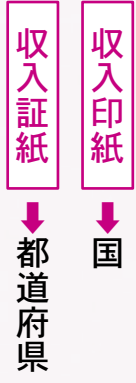
- ・国が発行する「収入印紙」は、印紙税が課せられる文書(課税文書)に貼り付けて納付する場合などに使用するものです。
- ・販売は「法務局、郵便局、その他に郵便切手・印紙売りさばき所」で行っています。
- ・印紙税は課税文書を作成した人が定められた金額の収入印紙を文書に貼り付け、これに消印(割印または署名)をして納付することが規定されています。

課税文書とは、例えば「不動産売買契約書(第1号文書)」、「工事請負契約書(第2号文書)」、「売上代金の領収書(第17号の1文書)」などがあり、その文書に記載されている金額に応じて納める印紙税額が異なりますのでご注意ください。

2 収入証紙とは

- ・地方自治体が発行する「収入証紙」は、それぞれの機関(例・運転免許の申請書や交付の手数料)、自治体に対する租税や手数料を納付する場合などに使用するものです。
- ・印紙と証紙は収納先が違う(印紙は財務省、証紙は都道府県会計管理者)ため相互の交換性はありません。
- ・東京都や川崎市など一部の自治体では手数料は現金で納める方法がとられ収入証紙がすでに廃止されています。また同様の動きが広がっているそうです。

販売は自治体で異なり、大半は県税事務所や道府県庁の購買店舗、交通安全協会支部等で販売しています。



企業リレー

【毎号表紙を飾っていただくのは各企業の社員さんです。】



株式会社
コマテック



弊社は四十五年前に我々の先輩達が農閑期(冬期)の関東方面への出稼ぎ防止対策として当時の行政に働きかけ誘致し進出した企業が前身となっております。

これまでの長い道程の中で第一次、第二次オイルショック、バブル到来、バブル崩壊、リーマンショック等々の悪条件下で生き抜いて来ております。

特にバブル崩壊以降、国内製造業の会社は生き残りを賭け賃金の安い中国を中心とした東南アジアに生産拠点をシフトする様になり当然弊社の前身である佐藤ゴム宮城工場も価格競争力では中国に勝てず次第に売上高が減少し存続の危機に陥る事となりましたが会社存続を願う社員の気持ちは熱く「過疎地から雇用の灯を消さない」との思いで本社から平成十五年に分社独立し現在に至っております。

事業内容は自動車、建設機械、農業機械、フォークリフト等の自動車関連商品と盲人用床材(アーマイト)や公園、幼稚園、保育園等にある遊具下の弾性安全マット、駐車場のカーズトップパー、介護用品として好評の滑らないバスマットなどのインテックス商品を製造販売しており多品種を多方面に展開している事と社員のモチベーションが高い事で不況時に強い体質の会社に生まれ変わっております。

対人関係はお客様であれ上司、部下であれ「聞六話四」をモットーに各々の業務を下記理念、方針に基づき実践している会社です。

《次回登場企業紹介》
築館の「株」グランテック」さんです。

＜経営理念＞

- 共生**
- 1) **社員及びその家族との共生**
健全経営のもと雇用の安定を図り社員家族の生活基盤を確立し共生する。
 - 2) **お客様との共生**
お客様が求める商品を、求める品質、納期、価格で提供し共生する。
 - 3) **地域社会との共生**
環境に配慮し地域住民と良好な関係を保ちながら企業を発展させ雇用の場を提供し共生する。

＜経営方針＞

- お客さま、社会から信頼され、社員として誇りを持ち希望を託せる会社に
1. 『品質最優先』をモットーに優れた商品をお客さまに提供する
 2. 適正な利益を得る
 3. 活力ある職場をつくる
 4. 環境保全活動に尽力する



ビジネス情報番組「賢者の選択」(BS12.毎週日曜日 18:00～18:27)にて法人会の活動をわかりやすく紹介されました。栗原法人会のホームページから視聴できますのでアクセスしてみてください。



着任のごあいさつ



築館税務署長
武田 実

この度の人事異動で、築館税務署長を拝命しました武田でございます。

前任は国税局の税務相談室で、納税者の方からの電話による一般的な税務相談のうち主として法人企業の会計処理等の相談を担当してまいりました。

さて、こちら栗原市は、平成17年4月の合併により県内一広い市として誕生し12年目を迎え、この間、二度の大震災に見舞われ甚大な被害を受けながらも、これらの経験と教訓を活かし、企業の皆様と市民が丸となって自助、共助、公助の精神で乗り越え歩み進んでいる力強い街であると聞いております。

また、秀峰「栗駒山」やラムサール条約指定登録湿地「伊豆沼・内沼」などを有し、豊

かな自然を活かした米穀や畜産、山菜やお酒など美味しいものが沢山あります。初めての赴任先でございますが、着任早々管内を彷徨い堪能させてもらっています。

上田会長様はじめ、栗原法人会の皆様には、日頃から税務行政全般にわたり、深いご理解と多大なご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

皆様方は、税務知識の普及や納税意識の高揚等を重点事業として掲げられ、税務研修会やテキスト配付、ホームページや広報誌での税情報の発信に積極的に活動しているほか、特に、租税教室の開催や税に関する絵はがきコンクールの募集活動を行い、日本の将来を担う子供たちへの租税教育に尽力されていることに目を見張るものがございます。

マイナンバー制度の定着をはじめ税務行政を円滑に行うためには、皆様方の事業活動を通じたご支援は欠かせません。引き続き皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人栗原法人会のみならずのご発展と会員企業の皆様のご繁栄を祈念いたしまして、着任のあいさつとさせていただきます。

税を考える週間

期 間: 11月11日(金)~11月17日(木)

本年の税を考える週間には、「くらしを支える税」をテーマとして、国税庁ホームページで特設ページを設け、国税庁の各種取組についてご紹介します。国税庁レポートなどを、統計資料等を交えながら説明したり、調査や徴収などの業務をドラマ仕立てで紹介いたします。この機会に、是非、国税庁ホームページをご覧いただき、税について考えてみませんか。詳しい内容は国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)または税務署へお問い合わせください。

年末調整説明会

平成28年分の年末調整説明会について、次のとおり開催します。

- ◆日 時 平成28年11月17日(木)
14時から
- ◆場 所 栗原文化会館(大ホール)
栗原市築館高田二丁目1-10
- ◆電 話 0228-23-1234
- ◆対象地域 栗原市
- ◆対象者 法人徴収義務者及び青色・白色個人徴収義務者

築館税務署からのお知らせ

7/22
Fri

「社員教育講座」

場 所：栗原市築館「市民活動支援センター」
 テーマ：「ズバリ! やる気の技術・好かれる技術講座」
 講 師：ソフィアハーモニー 代表 伊藤智恵子 氏
 参加者数：12名



本セミナーでは、若手～中堅社員向けにモチベーションコントロールについて学びました。モチベーションと人間関係は密接であることから、コミュニケーション力のレベルアップのポイントなどについて解説して頂きました。隣同士、初対面の相手とのロールプレイでは、初め緊張していた参加者もだんだんと「話す・聴く」ことのコツを掴み、笑顔で取り組んでいました。その他にもジャンケンやストレッチ、絵を描くなど最後までユニークな講座で楽しみながら受講することができました。

7/29
Fri

「市民公開講座」

場 所：栗原市築館「市民活動支援センター」
 テーマ：「絵手紙教室」
 講 演：株式会社ステップ 代表取締役社長 島田新一郎 氏
 実 演：石川敏子さんと絵手紙ボランティア秋桜会
 参加者数：60名(内一般49名)



「熊本地震の被災者の方々へ励ましの絵手紙を送りませんか!」という趣旨で、たくさんの方々の協力により、今回の絵手紙教室が開催されました。講演の島田さんの熱意あるお話に参加者の皆さんが引き込まれていました。被災者の励ましになることを願いながら描いた絵手紙を、熊本県益城町の避難所で展示して頂けるように、現地で支援活動している橋之口みゆきさんへ送らせていただきました。また、会場では熊本で被災しながらも屈せず、精力的に活動されている義手の詩人・画家である大野勝彦さんへの支援として募金箱が設置されました。総額45,000円の善意が集まり、大野さんの美術館へと送られました。本当にありがとうございました。

8/24
Wed

「被災地復興応援研修会in気仙沼」

場 所：気仙沼市「海の市・石渡商店など」
 参加者数：23名(内一般2名)

今年度は3年前にも訪れた気仙沼市へ行ってまいりました。視察先の(株)石渡商店は東日本大震災の津波被害により、事務所・工場・倉庫が全壊しました。しかし、お客様からの熱烈な応援と激励があり、営業再開を決意し、これまで以上にご満足いただけるふかひれ商品作りに取り組んでいるということです。実際にふかひれを加工しているところを間近で見ることができました。職人の方が一つ一つ丁寧に、手際よく捌いている様子にとっても感激しました。そして、参加者の方々には美味しい地元の特産品をたくさん購入していただき、復興への手助けになったと思います。



9/16
Fri

「実務セミナー」

場 所：栗原市築館「市民活動支援センター」
 テーマ：「決算書の使い方 基礎講座」
 講 師：公認会計士・税理士 石島慎二郎 氏
 参加者数：24名(内一般4名)



本セミナーでは、決算書の「読み方」だけではなく、決算書の「使い方」に重点を置いて解説していただきました。決算書の読み方を知っていれば、会社の現状を知ることができます。そして、活用方法を知ること

で会社の成長へつながるというものでした。参加者の皆さんは自社で生かそうと熱心に取り組んでいました。

9/25
Sun

「とっておきの音楽祭inくりはら」

場 所：栗原市若柳「わかやなぎ農産物直売所くりでん」(株)サウイ薬局
 参加者数：1800名

今年も秋晴れの中、総勢1800名の方々が集ってくれました。地元の若柳小学校金管バンドなどの生演奏、合唱、よさこいなど32団体の出演者の方が活躍してくれました。合言葉の「みんなちがって、みんないい」を実感できた素敵な一日となりました。



10/2
Sun

「第1回くりはら大運動会」

場 所：栗原市栗駒「栗駒総合運動公園体育館(サン・スポーツランド栗駒)」
 参加者数：100名(16チーム)

- ◆優勝チーム STAR ◆準優勝チーム kurikoma.G.Club
- ◆3位チーム KGC米

栗原法人会青年部会が中心となり、合併12年目の栗原市がスポーツを通じて、コミュニケーションを構築し、深い絆で結ばれることで、健康で活力に満ちた地域を目指すために「くりはら大運動会」を初開催しました。内容は税金クイズから始まり、男前ムカデ競争・大人のタマ入れ・アトラクションレースなど工夫を凝らした競技で盛り上がりました。



天候にも恵まれ、参加者の皆さんは仲間たちと楽しく気持ち良い汗をかくことができました。



9/10
Sat

「市民健康パークゴルフ大会」

場 所：栗原市一迫「小田ダム湖畔パークゴルフ場」
 参加者数：105名(内一般97名)

- | | |
|----------------|----------------|
| (男子) | (女子) |
| ◆優勝 鎌田 三男(高清水) | ◆優勝 高橋八重子(築館) |
| ◆準優勝 小野寺慶勝(築館) | ◆準優勝 菅原 作子(栗駒) |
| ◆3位 高橋 孝行(一迫) | ◆3位 佐々木静子(若柳) |

発行：公益社団法人 栗原法人会
 〒987-2216 宮城県栗原市築館伊豆三丁目1番10号
 TEL 0228(22)2775 FAX(22)2774
 E-mail: office@kuriji-ho.com
 URL: http://www.kuriji-ho.com

※平成27年10月1日より、事務所移転しました。
 新住所：宮城県栗原市築館伊豆三丁目1番10号
 栗原コスモビル2階(旧築館税務署)